

カマツカ

分類 (ぶんるい)

コイ科

学名 (がくめい)

Pseudogobio esocinus



◆^{からだ} ^{おお}体の大きさ

15cm～20cmくらい

◆^み ^{ばしょ}見つけれられる場所

^{なが} ^{すなそこ}流れがゆるやかな砂底など。石川では^{いしかわ} ^{じょうりゅういき}上流域から^{かりゅういき} ^{ひろ} ^{はんい} ^み下流域まで広い範囲で見つけることができます。

◆^{とく} ^{ちょう}特徴

^{くち} ^{なが} ^{とが} ^{くち}口が長く尖り、口ひげがあります。^{からだ} ^{まる} ^{もよう} ^{なら}体には丸い模様がきれいに並んでいます。

エサは^{いし} ^つ石などに付いている藻、^{すな} ^{そこ} ^い ^{せいぶつ}砂底で生きる生物などです。^{した} ^む ^{くち}下向きについている口で^{すな} ^す ^こ砂を吸い込み、エサをこしとって^た ^す ^{すな} ^た食べます。吸い込んだ砂はエラから出します。